

## 第3回 松山港港湾脱炭素化推進協議会 議事録

1 開催日時 令和7年1月28日(火)10時30分～12時00分

2 開催場所 愛媛県中予地方局 7階大会議室

### 3 議事

(1) 松山港港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況について

- 1) 本協議会の検討事項
- 2) 前回の協議内容
- 3) 松山港港湾脱炭素化推進計画の概要
- 4) 松山港の概要
- 5) 対象範囲
- 6) 官民の連携による脱炭素化の促進に資する港湾の効果的な利用の推進に係る取組方針
- 7) 港湾脱炭素化推進計画の目標
- 8) 温室効果ガス排出量の推計結果
- 9) 温室効果ガス吸収量の推計結果
- 10) 温室効果ガス排出量の削減目標・削減計画
- 11) 水素・アンモニア等供給目標・供給計画
- 12) 温室効果ガス排出量の削減並びに吸収作用の保全等に関する事業
- 13) 計画の達成状況の評価に関する事項及び計画期間
- 14) 脱炭素化の促進に資する将来の構想
- 15) 港湾及び産業の競争力強化に資する脱炭素化に関連する取組
- 16) ロードマップ
- 17) イメージ図
- 18) 今後の検討スケジュール

(2) 意見交換

### 4 議事要旨

(1) 開会

(2) 議事

ア 松山港港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討状況について  
事務局から内容説明を行った。

イ 意見交換

- ・松山外環状道路の整備に伴い、県道22号線(伊予松山港線)への流入車両が増加し、渋滞が発生しているため、燃費の良いトラックを導入しても、渋滞によりその効果が十分発揮されず輸送効率にも影響が及ぶ可能性があるが、改善策はあるのか。

⇒松山外環状道路の延伸区間が計画段階評価を進めるための調査箇所を選定されており、引き続き検討が進められる予定と聞いている。

- ・水素・アンモニア等の利用拡大に係る受入地について、港湾のどこで受け入れるのか予定はあるのか。外港地区で受け入れできるようになれば陸送での短縮が図れるかもしれない。

⇒水素・アンモニア等を利用する事業者は外港地区に多く立地していると認識しており、並行して検討している松山港中・長期ビジョンにおいても、次世代エネルギーの受入施設は必要な土地確保も含め、外港地区に整備していく方針としている。

- ・本計画の計画期間は2050年までと長期に渡るため、策定後も継続的に状況を確認する必要があるが、今後どのように評価等を行っていくのか。

⇒資料2のP15「計画の達成状況の評価に関する事項及び計画期間」に記載の通り、計画策定後は定期的に協議会を開催し、構成員からの情報提供を受け、計画の達成状況を確認・評価することとしている。

- ・「港湾脱炭素化促進事業」として計画を公表している構成員より、計画内容について説明を行った。

- ・今後、新たな構想や現時点でリストにない計画が立ち上がる可能性があり、計画の見直しを進める中で追加されていくものと考えられることから、まずは計画を形にして可視化することが重要であり、これを基に計画の見直しを含め議論を活発化させていただきたい。引き続き尽力の程お願いする。

(3) 閉会